

方小だより
令和8年度
校長室

笑顔いっぱい



けがの手当てについて

5年生が体育科の保健領域「けがの防止」の学習をしました。学校生活でのけがの防止、交通事故の防止、地域での安全について学習を進め、けがの手当てについての学習でした。本校の養護教諭による授業で、はじめに1学期に5年生がどのようなけがで保健室に来室したかのグラフを見ました。すり傷や打撲などが多いことが予想できていました。その後、鼻血が出たときや打撲をしたとき、すり傷などの手当ての仕方について考えていきました。さらに、実際にけがの手当てがシミュレーションできるように班ごとに実習もしていました。けがによっては、流水で洗って傷口を清潔にすること、冷やすこと、止血すること、固定することなどを学びました。

また、自分で処置できないような大けがの場合、119番に電話をする練習も1つのグループがみんなの前で発表しました。いざというときにどのようなこと伝えればいいのかを考え、実習することができました。

学校生活の中で、けがはどうしても起こってしまいます。できるだけけがが起こらないように生活し、もしもけがをした場合にどうすればいいかを高学年になると学んでいます。



朝会での呼びかけ

毎月2回ある児童朝会では、表彰や校長の話、委員会や先生方からののお知らせをしています。10月20日(火)の朝会では、1年生からののお知らせがありました。

1年生は、学級会で方上小学校のあいさつをもっとよくするための話し合いをしました。「あいさつでいっぱいの学校にしよう大作戦」として、自分たちで決めたことを全校児童のみなさんにお知らせしたのです。1年生からは10月の間、あいさつ運動をすることやチラシを配ったり、ポスターを掲示したりすることを2年生から5年生に呼びかけました。

1学期には、6年生から「スリッパをきちんと履よう」という提案がありました。子供たちが学校の課題について自分事としてとらえ、よりよい学校にしていこうために働きかけていることをうれしく思います。これからの成長が楽しみです。



大谷町協議会 排水の陣の皆様 ありがとうございます

本年度の「笑顔いっぱい」第2号で、大谷町協議会、排水の陣（徳島市南部地区の排水をよくする会）から方上小学校に多額のご寄付をいただいたことをお知らせしました。理事長様から「子供たちに役立つことに使ってください。」とお話いただきましたので、子供たちの命を守るプールの監視台と、図書室の本を買わせていただきました。

夏場のプールでの学習は、子供たちは楽しみにしていますが、ひとつ間違えると大きな事故につながります。本校ではプールでの学習は、必ず複数の教員が見守るようにしていますが、これまでは監視台がなく、高い位置から児童の見守りができませんでした。しかし、監視台を設置することで、子供たちの様子をすみずみまで確実に見守ることができるようになりました。

また、子供たちが大好きな本を90冊、購入させていただきました。本校の児童は、読書が好きです。新しい本はとても魅力的で、図書室に本を借りに行く児童の数も増えます。今回、ご寄贈いただきました本のコーナーは、「なかよし文庫」と名付けました。地域の皆様方の方上の子供たちを大切に思ってくださいのお気持ちに心より感謝です。ありがとうございました。

